



発行:東北支部北河内地区広報活動地区育成委員会

TEL:06-6965-9999

FAX: 06-6965-2468

touhoku-info@truck.or.jp

Gマーク取得のためのグループ演習を開催

於:6・16トラック会館 201 号室



今年度の取得を目指す 4 社、来年度以降の取得を目指す 6 社及び更新の 2 社、計 14 名と本部適正化事業部から森谷部長・坂本次長をはじめ指導員 4 名に来て頂き、東北支部では平成 26 年 6 月 16 日 (月) 17:30~19:00 に「**Gマーク取得のためのグループ演習**」を開催した。

当演習に際して、適正化事業部では今年度の取得・更新を目指す 5 社の巡回指導の資料をご準備頂き、また当該 5 社は申請する添付書類の一式を持参し、約 1 時間、1 対 1 で書類の過不足等チェックして頂いた。基準日 7/1 迄にやるべきことが明確になったというのが、参加者の感想だった。これに対して、来年度以降の取得を目指すグループは、坂本次長と 2 回目の更新を予定している会員様をアドバイザーとし、質疑応答を中心に演習を進めたが、安全性に対する取組の積極性 (配点 20 点) の具体的内容には至らずとも、法令遵守・事故や違反の状況・社会保険の加入状況等の具体的内容について十分深めることができた。**Gマークは安全の証であるけど、それを背負ってる個々の運転者がより一層の安全を心掛けることに意義がある**と会員アドバイザーは締め括られた。



↑ グループ演習の様子

↑ 1 対 1 で、7/1 の基準日に申請予定の書類を適正化指導員にチェック・アドバイス頂く会員の様子 ↑

◎ 今年の緊急輸送訓練は枚方で実施！

9月6日（土）10：00～ 枚方市との防災協定締結を受け、今年の東北支部の緊急避難訓練は大阪工業大学様のご厚意で同大枚方キャンパス・駐車場に於いて実施されました。



昨年までの鶴見緑地公園駐車場から場所を移して実施された今年の同訓練ですが、例年通り出動車両は、全7両で北河内地区からは3両（大阪重運㈱・交野運送㈱・丸善大阪運輸㈱）が出動。本部からは長野穂特別参与が駆け付け、見学者を含め総勢49名が大阪工業大学・枚方キャンパス・駐車場に集結した。

指揮官たる中原支部長の号令で、訓練はスタート。梶原副指揮官の指示の下、出動車両の乗務員14名は点呼・車両点検を機敏に終え、緊急物資に見立てた段ボールもすばやく積み込んだ。

啓発を兼ねたパレードからの帰還後、交野署・永江伸行警備課長の締め括りの講評で本訓練は終了。

永江警備課長や長野特別参与からの「平時から意識を持ち、こうした訓練を毎年実施することが肝要」という言葉通りの実践を今年も重ねました。

◎ 9/21 ～ 9/30 は「秋の全国交通安全運動」でした！

今秋の運動の重点は、①子供と高齢者の交通事故防止 ②夕暮れ時と夜間歩行中・自転車乗用中の交通事故防止 ③全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 ④飲酒運転の根絶 の4つでした。大阪ではこれに加えて特に「**高齢者の自転車事故防止**」を重点に掲げ、期間中は連日様々なイベントが催され、交通安全の大切さを訴え・確認していきました。

そして我が北河内地区では、恒例になっておりますが・・・



住道駅前早朝キャンペーンの様子 ↑



枚方市駅前交通安全啓発パレードの様子 ↑



交通安全運動実施に先立ち9月19日（金）には、7：45～JR住道駅前では早朝キャンペーンを開催。また、同日16：00～は枚方市駅前交通安全啓発パレードが開催された。

住道ではキャンペーンの冒頭に大阪産業大学チアリーダー部の華麗な演技が披露され、また枚方でも壮大なパレード・セレモニーの最後は東海大学付属仰星高等学校ブラスバンド部の年々パワーアップする演奏で締め括られた。参加協力頂きました多くの役員の方々や青協のメンバーの方々とともに毎春秋の交通安全運動を盛り上げて頂いている両校の学生さん達には、本当に感謝です。

◎ 今年の中環をきれいにする日は、9/19 でした！

大阪府における道路美化活動の取り組みとして、今年も 9月19日
メイクアップロード OSAKA「中央環状線一斉清掃事業」が行われました。



当日は、涼しくお天気も良く気持ちよく清掃できましたが、今回は大日から北側を担当することになり、ごみの多さに驚きました。今まで南側では20名ほどの後を歩くとほとんどごみが無かったのですが、北側は倍以上のごみの量でした。清掃を終え沢山のごみを見て「ひとりひとりのごみがこれだけの量になる」ことを痛感し、清掃活動や啓蒙活動の必要性を再確認しました。

◎ 9/10 後継者育成経営基盤強化研修会 — 午後6時より太閤園において開催 —



『アベノミクス効果により日本では景気回復兆しだが、大阪においてはまだまだ厳しい状況が続いている。加えて、我々業界においてはドライバー不足が深刻となっている。また事業を継承する後継者の不在等々、とりまく環境には課題が山積している。是非とも人が集まる魅力ある業界になりますよう祈念申し上げます。』との中原支部長の開会挨拶の後、数々の企業を崖淵から復活させてきた事で有名な、元スターバックスコーヒージャパン(株)CEO 岩田松雄講師(↑)に御講演頂きました。

『何のために事業をするのか？企業の存在理由』

～激動の物流業界で勝ち抜くには～

講演では、自己紹介の後『ミッション』について、『ミッションとは企業の存在理由で、それぞれの会社には存在理由がある。何の為に事業をしているのか？ 企業は事業を通じて世の中を善くする為にある。一般的には利益の最大化が経営者の使命であると言われているが、事業を通じて世の中に貢献するという、より崇高な目標達成の為の手段として利益の最大化がある。世の中に貢献するという熱い使命感から、未来へのビジョンが描け、熱いパッション（情熱）が湧いてくる！』と。自我のみの狭い枠に留まらず、世の中に貢献するという、広い視野に立つ事により無限の可能性を持った発想が生まれるのではと感じさせて頂きました。また、スターバックスでのお話では『スターバックスのライバルはリッツカールトンであり、ディズニーランドである。スターバックスでは、感動経験を提供している。期待通りであれば満足、期待を超えて、そこまでやるのかと言うのが感動である！』とも。私達の業界に置き換えれば、価格競争の厳しい現状の中、価格以外何で差別化を図るのか、お客様に期待を超えた感動を提供できる物流を目指していければと学ばせて頂きました。(M.M)



岩田氏の講演に聴き入る参加した会員 総勢74名

トラックフェスタ 2014



毎年、10月9日のトラックデーに合わせて行われるイベント「ふれあいトラックフェスタ」が10月19日に吹田市の万博記念公園お祭り広場で開催され、当日は行楽日和で多くのお客様が来場されました。



「トラックは生活(くらし)と経済のライフライン」をテーマに交通安全教室やキャラクターショー、フリーマーケット、白バイ展示などのイベントが催され、東北支部青年協議会では、例年通り **きかんしゃトーホク・ミニSL** を運行。ショーとの相乗効果もあり大盛況でした。

ご協力いただきました女性の会、青協会員の皆様には本当にありがとうございました !!



↑ 新キャラ・パンダさんも乗車



↑ きかんしゃトーホク(ミニ SL)



受付担当は女性の会



↑ 長蛇の列の最後尾



↑ 中は、だ〜れツ?



10/24 労務問題研修会

平成 26 年 10 月 24 日 太閤園にて社会保険労務士の津田英人氏による『～募集・面接が肝心～ 採用から始まる労務管理』の講演会がおこなわれました。講演の内容を要約すると以下の様になります。

以前から問題視されている人材不足。応募→面接→採用→雇用という流れの中でそれにたどり着く迄に**応募者が少ない**という状況を打開するのが肝要。その為にはハローワーク・求人誌・折込チラシ等々を利用されてこられたかと思いますが、多くの応募があってもそれだけでは優秀な求職者は採用できません。

応募者をたくさん集めて、選ぶ「権利」を会社が手に入れる為には……

S A B C D S ランクの人・・・他の社員が手本にする人(自分が出るだけでなく、他の人に教えられる)

C D ランクの人を採用しない工夫をする(このランクはローパフォーマー 又は トラブルメーカーの可能性が高い)

面接 ・面接質問票の提出 ・声は聞こえるか ・友人は多いか ・前勤務先の退職理由
・家族構成(誰と一緒に住んでいるか) ・病歴(てんかん、心臓、糖尿) ・喫煙歴 etc.

その他 ・運転免許証(現物)の確認 ・適性検査の実施 ・健康診断書の提出(3ヶ月以内に受診)
・運転記録証明書の提出 ・トラックの運転実技テスト

S～D の 5 段階ランク分け面接を一つの手段として上記のポイント(特に例示された「面接質問票」を必ず提出させる)を踏まえ、試用期間においては、要求する具体的レベルを文書化し、次のような勤務態度があるときは本採用をしないことを告げておくことが大切です。

・協調性がない(自分勝手) ・企業の秩序を乱す ・能力不足 ・勤怠不良(遅刻・早退・欠勤)
・残業代目当ての労働

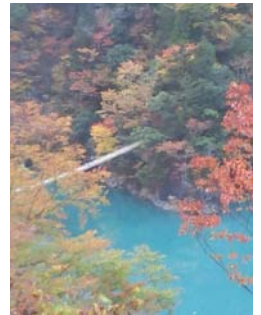
※なお、同研修会では「中型免許の問題」、平成 26 年 10/5～ の「最低賃金が 838 円へ変更」されたこと、平成 26 年 10/20～の「通勤手当の非課税限度額の増額」についてのお知らせもあった。



平成 26 年 11 月 8 日（土）から一泊二日で、女性会 10 周年宿泊懇親会を行いました。参加者は 9 名。門真市駅前を予定通り 8：00am. 出発。天気予報によると「曇り後雨」となっていますが、皆様の日頃の行いのおかげか、2 日間とも傘要らずで、温かい日差しにも恵まれました。

< 1 日目 >

お昼前に大井川鐵道SLに乗車。タイムスリップしたような客席で童心にかえり、美味しいお弁当を頂き 1 時間の列車の旅を満喫しました。寸又峡温泉に到着後はすぐハイキングへ。大間ダム湖面はエメラルドグリーン。幻想的でとても綺麗で感動的でした。高さ 8m・長さ 90mの夢の吊橋には、渡るのに勇気がいり数名だけこれに挑戦！紅葉を観ながら、300 段の階段をも上るという少しハードでスリル一杯なハイキングコースを体験することができました。宿泊地は山間の情緒ある古民家風のホテル。夕食では地元で採れた新鮮な食材の料理に舌鼓を打ちつつ参加メンバーの近況報告やらで、時間の経つのも忘れ楽しく過ごし、この日の行程を無事終了しました。



< 2 日目 >

三保の松原へ。残念ながら富士山は雲に隠れて観られませんでした。立ち寄った焼津港で美味しい、美味しい昼食を頂きました。魚センターでは例によって沢山のお土産を買い、無事予定時刻に出発地である門真市駅前に到着・名残惜しく解散となりました。

筆者たる私にとっては、最高の 10 周年記念の親睦旅行になりました。有り難うございました！

¥¥¥

外形標準課税の中小企業への適用の動向は……

¥¥¥

こんにちは。大阪府トラック協会東北支部北河内地区総務委員会の委員長を仰せつかっている井上です。日頃は当協会の活動にご理解・ご協力を頂き誠にありがとうございます。今後も皆様のお役に立てよう頑張って活動していきたいと思ひます。変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いしします。

さて今回の「れんこん」発行に際し 1 つの記事を紹介させていただきます。

今年 6 月政府税制調査会が「法人実効税率引き下げのための税源を中小企業向け増税に求める」という答申を出しました。今回は主なものの内「外形標準課税の中小企業への適用」について書かせていただきます。

そもそも「外形標準課税」とは、従業員の給与や利払い費などを対象に課されるものです。読売新聞 10 月 5 日付の報道によれば、政府・与党は「中小企業への外形標準課税の導入を、来年度は見送る方針を固めた」とあります。このこと自体は、中小企業にとって「グッドニュース」なのですが、来年度には大企業向け外形標準課税を「強化」する方針がほぼ確定しているようで、その後再来年度には中小企業に対して、増税幅の大きい「強化された外形標準課税」が導入される可能性が高まっている模様です。ということは現在の状況に「ほっと」しているのではなく一層警戒が必要な局面です。

皆様、今後政府の動向をしっかりとチェックして「聞いてないよ」なんてことのないように、しっかりアンテナを張り巡らせ対策を講じておきましょうね。

¥¥¥

◎「酒は百薬の長」というけれど・・・飲み過ぎは、ダメよ～、ダメダメ



アルコール検知器の義務化から3年半が過ぎました。この義務化を前後して話題になったのが、アルコール摂取量と代謝時間をイラストでわかりやすく ← 解説しているこのポスター（NPO 法人ヘルスケアネットワークの企画・販売）。

体重 60 kgの人が、ビールなら 500ml または、日本酒なら 1 合（アルコールの「1 単位」というそう）を代謝するのは、通常 3～4 時間かかるとか……。2 単位であれば、この倍となり 6～8 時間となります。

忘年会等の季節。まずはビールで乾杯！寒い季節はやっぱり熱燗で……。こんな感じで楽しく会合、まあ最低ビール 500ml と日本酒 2 合位は併せてチャンポンで飲みますよね～。ポスター（早見表）によると代謝には半日近くかかるとあります。夜の 9 時お開きで、翌朝の出勤。点呼すると検知器がしっかり反応・ハンドルを握らせられないってことありませんでしたか？師走の候、輸送量も増える稼ぎ時。間に合わないっていうのも信用にかかわるし、酒気帯び事故で監査対象……。なんて事態にならないように運行管理者からも社長自らも注意を喚起し何よりハンドルを握る一人ひとりのドライバーが自己管理し、2014 年の最後を無事乗り切りましょう。

さてお酒の話題についてはもう一つ。今年の 6/1 に施行された「アルコール健康障害対策基本法」に基づき先月の 11/10～16 日に、はじめてのアルコール関連問題啓発週間が設定され、東京や大阪では啓発フォーラム等も開催されました。

そして啓発の為のポスターがこれ →



アルコール関連の問題について知ってる？ 本当にぜんぶ知ってる？

そう、多量飲酒などの「不適切な飲酒」で起こるのは、急性アルコール中毒 や アルコール依存症だけじゃないんです。

生活習慣病や臓器障害・がんなど。さらには、睡眠障害、うつ・自殺！

また、飲酒の強要や、イッキ飲ませなどのアルコールハラスメントも深刻な事故を引き起こします。

そして、未成年の飲酒は心身に害を与え、妊婦の飲酒は胎児に悪影響を与えます。

楽しい側面もある飲酒ですが、様々な問題を引き起こしてしまうということを知ってください！

啓発のポスターには、アルコール関連の問題が、かいつまんで書き込まれています……

『徒然草』にも「百薬の長とはいへど、よろづの病はさけよりこそおれ」と！その通りですね。

◆ 北河内地区会員状況 全 279 社

— 平成 26 年 11 月末 現在 —

守口・門真ブロック	102 社
寝屋川・枚方・交野ブロック	107 社
大東・四條畷ブロック	70 社

◆ 今後の行事予定

・平成 27 年 1 月 13 日（火）16：30～

物流セミナー 年賀会 於）太閤園

講師：加藤清隆氏

※ 加藤氏は、たかじんの TV 番組出演でもお馴染みの評論家です。